

緑風だより

第96号

令和6年5月2日発行

発行 障害者支援施設 さがみ緑風園

〒252 - 0328 相模原市南区麻溝台2 - 4 - 18

TEL042 - 766 - 2255 URL www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/

発行者 弘末竜久

圧倒的利用者目線～生かされているから生きるへのパラダイムシフト～

園長 弘末 竜久

先日、60歳台でグループホームに移行された方がいます。娘さんがご本人と一緒に事前見学した際のお昼の町中華でのラーメンは、数十年ぶりの親子での食事でした。面会の片道2時間が50分となり、お孫さんの運動会を見に行くことを楽しみにされるなど、緑風園にいたら経験できなかった新たな人生を歩み始められました。また、移行後は「夜に風呂に入って湯上りに晩酌でビールを飲む、普通の生活がしたい。」と言われました。私たちも仕事帰りにビールを飲めば「クーッ」と**生き返る**ような、「うまい!」と**元気になる**。私たちが得ている当たり前の感覚が施設生活では不足していたことを再認識（反省）しました。



この5年間、当園では“緑風園での生活を支えることから人生を支えること”に支援の力点をスイッチしてきたことで、利用者お一人おひとりの立場に立った人生設計をご家族の皆様と議論できる、本当に良い施設になりました。しかし、取り組みから5年を経る中で、人生を支えるという支援者側からの理念に、利用者目線の障害福祉を目指す県の方針とのズレを感じていました。

最近、日中は他の事業所に通所される方も増えており、お給料をもらえるようになった方は、その度に満面の笑顔で報告してくれます。また、会話ができる方が少ない状況にあって、友達が欲しいと願う方もおられます。私たち同様に**生きがいが必要**だと、痛感しました。

さがみ緑風園は、「利用者の人生 **を** 支える」ではなく、「利用者 **が** 生きる」という利用者側の視点（圧倒的利用者目線）ですべての業務を見直してまいります。それぞれの方の「**生きる**」には違いがありますが、考え方のベースを**180度**転換し、新たなステージに向かう所存です。

ボランティアの受け入れを再開しました

感染症対策のため、長らく中止していたボランティアの受け入れを再開しています。



以前ご協力いただいていた団体様や個人ボランティア様が少しずつ戻って来てくださり、また、新規でボランティア登録をしてくださる方もあって、利用者様の生活がより充実してきている様子が伺えます。

地域の皆様、ボランティアにご興味がありましたら、是非当園ボランティア担当までお問合せください。（ボランティア担当：染谷）

退職・転出職員の紹介

これまで、緑風園の運営にご尽力いただきありがとうございました。

●退職●

- ・生活第一課 5ホーム長 菅野 眞一
- ・生活第一課 6ホーム 小林 秀夫
- ・生活第一課 6ホーム 小松 学
- ・生活第二課 7ホーム 渡邊 すもも
- ・生活第二課 7ホーム 小澤 由美子

●転出●

- ・管理課 課長 齊藤 幸雄
- ・生活第一課 5ホーム 眞喜志 康徳
- ・生活第一課 5ホーム 中島 淳
- ・生活第一課 6ホーム 稲田 直洋
- ・生活第二課 7ホーム 浅海 法子
- ・生活第二課 8ホーム 鷲津 美奈子

※敬省略

新採用・転入職員の自己紹介



●管理課 玉木 克彦

再任用職員として管理課に着任しました。県職員として40年目に入りましたが福祉部門での仕事は初めてとなります。皆さんのお役に立てるよう精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



●7ホーム 金子 礼子

緑風園の勤務は初めてですが、早く慣れて皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



●8ホーム 山村 公之介

5年ぶりに緑風園へ帰ってきました。多くの利用者さんから「覚えてるよ。久しぶり。」と言ってもらえたことを嬉しく思っています。皆さんのより良い日常のサポートができるよう頑張ります。宜しくお願いします。



●7ホーム 水島 遥

はじめまして！至らないところもあると思いますが、利用者みなさんのお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



●8ホーム 角田 智美

はじめまして。わからない部分が多くありますが、利用者みなさんの生活に寄り添っていけるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

